

研修報告書

令和 5年 5月 31日

長浜市議会議長

様

長浜市議会議員

竹本直隆

私が出席した次の研修の結果について報告します。

記

1. 研修名 会派新しい風行政視察研修
2. 研修日時 令和5年5月15日(月)～5月16日(火)
3. 研修場所 厚生労働省医政局・総務省地域力創造グループ過疎対策室
4. 研修テーマ「病院再編の考え方」・「過疎対策について」
5. 講師 各省庁担当職員
6. 調査内容感想等

・研修の目的

①地域医療構想の考え方に伴う、全国の公立病院の取り組みについての状況及び、取り組みについての国からの支援策など。

②過疎地域の状況。過疎法に基づく国からの支援策について

・研修の内容

①厚生労働省医政局地域医療計画課医師確保等地域医療対策室の官僚からの病院再編の考え方についての研修を受け、現在の国での医療体制維持の推進を図るために人口動向に合わせた適切な病院配置や医師派遣など様々な考え方も含めた研修を受けた。長浜市の状況に合わせた医療構想考え方には日本赤十字病院の存在はこれからの長浜市の社会状況に照らし合わせた取り組みが必要では

ないかとの意見があった。また地域医療介護総合確保基金や病床機能再編支援事業の標準事業例などは湖北病院に適合できるなど本市にとっても有益な支援策などを研修できた。

②総務省地域力創造グループ過疎対策室から過疎対策の説明を受けた。過疎対策の経緯については昭和45年以来5次にわたり過疎法の改正及び追加立法がなされてきたが、支援を含めた特別措置法は令和3年3月に成立し翌月から施行された。内容は過疎対策事業債、国庫補助金のかさ上げ、地方税の免除等に伴う減収補填措置、過疎地域持続的発展支援交付金などの説明を受けた。

・研修の結果を本市にどのように反映させるか

①長浜市における医療再編は持続可能な医療体制を堅持するためにも、財政が今後逼迫していく状況の中では日赤病院と市との二本立てで医療体制を維持して行く方が本市にとっても負担が少なく、質の高い医療が市民に提供されるのではないかと痛感した。

②全国的な課題となっている過疎化対策に妙案は現況ではないと個人的には思った。本市では集落ネットワーク圏設定などの取り組みや、活性化プランなど策定しているが、成果に結びつけることは難しいと推測できる。個人的な持論ではあるが企業誘致などによる人口増加を図ることの方が、熊本や千歳の事例を見れば一目瞭然である。人口が流入している地域は働く場所があると言う事実が立証している。企業誘致の推進が過疎化対策を防ぐ特效薬であることは間違いないと確証している。